

答

現在、社会福祉課に手話通訳者が1名常駐するほか、簡単な手話ができる職員や筆談などにより対応している。よりいっそうの窓口対応力の向上を図るためには、タブレット端末を活用したサービスの提供が重要であると認識しており、今後、他市の取組事例を参考に検討していきたい。また、災害時支援用バンダナは、災害時における有効な表現手段であり、今後、愛媛県にも働きかけながら配布について検討していきたい。

小・中学校への空調設備設置の考えは？

問

小・中学校の暑さ対策として、各教室へ空調設備の設置が必要であると考えますが、教育環境を改善していくために現状をどのように認識し対応していくのか。

答

小・中学校におけるエアコン整備は、パソコン教室や特別支援教室のほか保健室などに設置することを基本としており、設置率は約18パーセントとなっている。現在、暑さ対策として、全校の各教室に扇風機を配備して対応している。エアコン整備に係る費用は、先進市の事例を参考に算出すると約21億円が必要で、更に、電気料金などのランニングコストも必要となるため、財政的負担は非常に大きい。今後、具体的な設置方法や整備方式、また、国の補助金や合併特例債、ふるさと納税などの財源活用について総合的に勘案し、整備に向け調査・検討していきたい。

城戸 力 議員



(議案質疑)

- 1 自治体シンクタンク設置運営事業について
- (一般質問)
- 1 小・中学校における暑さ対策について
- 2 合併処理浄化槽の清掃料金について

日本共産党 西条市議員団

青野 貴 司 議員



(一般質問)

- 1 吉岡地区における「弾道ミサイルを想定した住民避難訓練」について
- 2 加計学園問題について
- 3 介護保険料の滞納に対する罰則について

ミサイル避難訓練実施

児童への影響は？

問

平成29年7月10日、吉岡地区において「弾道ミサイルを想定した住民避難訓練」が実施されたが、子どもたちにはどのように説明し、また、この訓練の影響による子どもたちの心的外傷後ストレス障害については、どのように考えているのか。

答

今回の訓練は、かけがえのない市民の命を守るため、弾道ミサイルに対する万一の場合に備えた訓練として実施した。

吉岡小学校では、事前に児童に対し各学級において分かりやすく説明を行うとともに、訓練後も学校や家庭で児童の様子にじゅうぶん注意してきしたが、変化が見られた児童はいなかったため、心的外傷後ストレス障害についての懸念はないと考えている。

しかし、子どもの心は繊細であり、引き続き、児童の様子について継続して観察していきたい。

税金の引き下げ可能か？

国民健康保険制度

問

平成30年度から国民健康保険税(料)が都道府県単位の広域で運営されるが、西条市独自で引き下げをすることは可能か。

答

国民健康保険特別会計は、独立採算を基本原則としており、国、県の交付金及び国民健康保険税で運用することとなっている。また、厚生労働省においては、平成30年度以降の国保財政運営の県単位化に伴い、国保会計の不足額の補填や国保税負担の緩和を目的とする一般会計からの繰り入れは、地域の実情に応じて計画的・段階的に削減、解消すべきものと位置付けていることから、税率を引き下げるために一般会計から繰り出しを行うことは適切ではないと考えている。

現在、愛媛県で調整事務などを進めており、実際に標準税率がどうなるか現在のところ示されていないため、現状を注視している状況である。

山地 美知一 議員



(一般質問)

- 1 国民健康保険税について
- 2 エネルギー政策について